



令和3年度学校だより

五福校 ごふくこう

2月22日

No131

文責 本田

学校の中がお花畑のようです。 Art がなぜ大切なのか？ 校内造形展で一人一人の作品を展示しています。

現在、少人数教室とオープンスペースを使って1年生から6年生までの子どもたちが図工の時間に制作した作品を展示しています。子どもたちの作品がこれだけ集まると学校中が一気に明るくなります。先日、「五福っ子の様子」にも教頭先生がその様子をすぐアップしています。造形展ですので、どの学年も自分が感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことを立体・工作に表現しています。子どもたちは、形や色だけでなく、材料の特徴を生かして工夫しています。材料は粘土・木・紙・クレヨン・絵の具など様々です。作品を作るにあたっては、自分の感性を働かせながら、作り出す喜びを味わわせるとともに、自分の表現だけでなく、お友達の作品から面白さや楽しさを感じ取り、表現の良さに気付かせるようにしています。

本校はSTEAM教育という「各教科での学習を実社会での学習に生かしていく」ことに取り組んでいます。これから変化の激しい時代では、新しいことを創造する力が求められていきます。例えば、アニメにしても、それらを作り出す力があるからこそ日本がここまで来ることができています。これからの社会においては、他の人と協働していくこととともに、このような芸術性、創造性、表現力が不可欠なのです。これからもいろいろな教育活動を通して、感性を磨き、創造力・表現力豊かな子どもたちを育ててまいります。



それぞれの感性が感じられて素晴らしいです！

誰も見ていなくても・・・きっとどこかで神様が見ているよ。

先日、5年生の男の子が朝から一人で保健室横の通路を掃除してくれていました。「ありがとうございます。どうしてここを掃除しているの？」と尋ねると、「先生たちがここを通るから綺麗にしています」とのこと。僕が小学校の時は、そんなこと思ったこともありませんでした。「良い行いをしていると、きっといつか別の形でいいことが返ってくるよ」と言いました。これからも、みんなの優しさでいっぱい学校になっていったらいいなと思っています。



本日は授業参観、学級懇談会お世話になりました。聞き取りづらいこともあったかと思いますが、子どもたちも発表頑張っていました。